

# アビダスタまプラーザ

ABDS TAMA-PLAZA

No. 01-008-2017作成

新築  
集合住宅

発注者	青木あすなろ建設株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	青木あすなろ建設株式会社 Asunaro Aoki Construction		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	青木あすなろ建設株式会社		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

## エコで健康的な暮らしを目指した住まい創り

### 周辺環境・計画コンセプト

本計画地は、神奈川県川崎市と横浜市の市境の丘陵地に位置し、周辺には菅生緑地や緑豊かな中央卸売市場北部市場、並木道など自然を身近に感じることのできる敷地である。計画にあたっては、高低差のある地形・既存樹木を極力生かした配置計画や、省エネ・創エネ技術等の採用など、様々な提案を盛り込むことで環境負荷の低減と健康的な暮らしを目指した住まい創りを行った。

### 《環境保全》

#### 地形・既存樹木を生かした配置計画

計画地は元々樹木が多く、本計画においてはできるだけ既存樹木を残せるような配置計画とすることで、生物環境への影響を極力抑えるよう配慮した。また、高低差のある地形を生かし切土・盛土を極力行わなくてよいように配置計画・アプローチ部の設計を行うことで排出土を抑え、環境へ配慮した計画とした。



西側外観



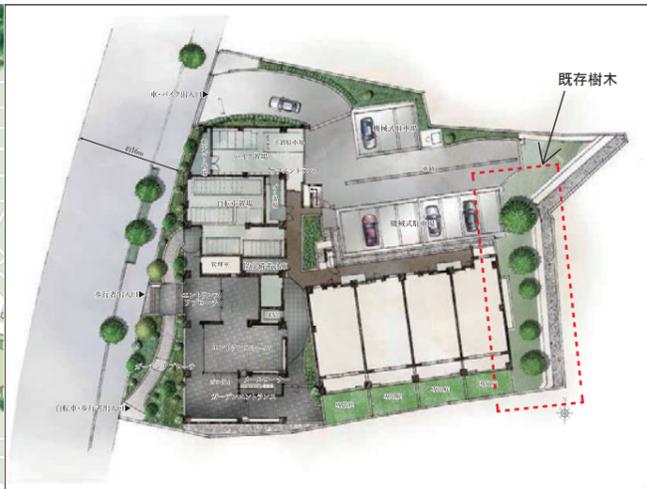
2層吹き抜けエントランスホール



ガーデンアプローチ



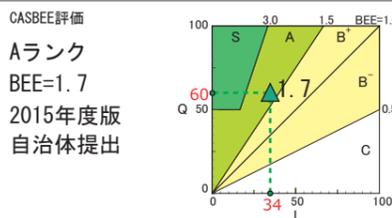
緑豊かな周辺環境



既存樹木を生かした配置計画

建物データ	
所在地	神奈川県川崎市
竣工年	2017年
敷地面積	2,167㎡
延床面積	5,288㎡
構造	RC造
階数	地上7階

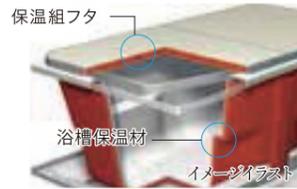
省エネルギー性能	
品確法断熱等性能	等級4



### 《省エネ》

#### 省エネに対する取り組み

平成27年より施行された「住宅省エネ法」の新基準における断熱等性能等級 等級4（平成25年基準相当）を取得。全住戸において高断熱化を図り、節水機器やLED照明等を採用することで省エネ性能の向上を目指した。



保温浴槽



節水水栓

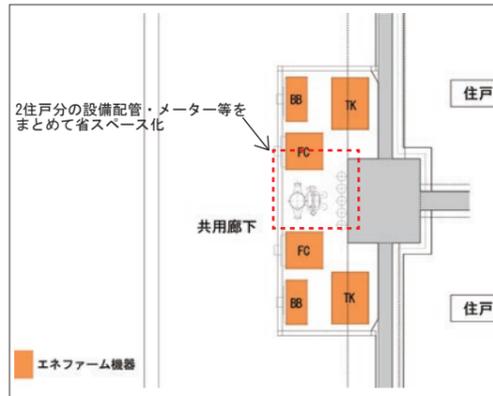


節水トイレ

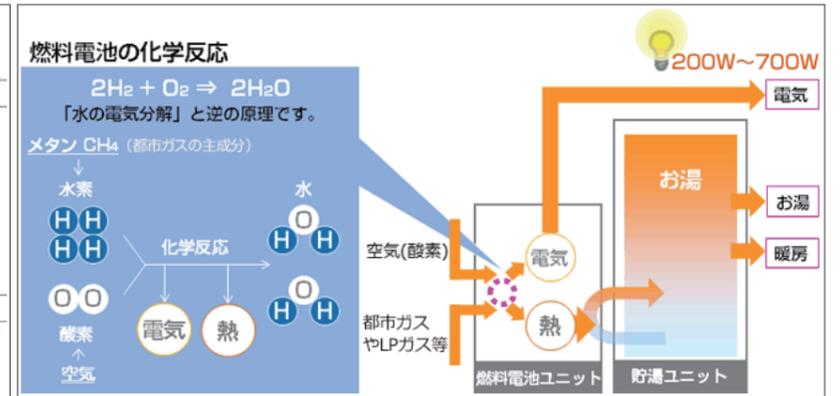
### 《創エネ》

#### マンション向け家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）

採用による創エネ・見える化ガスで発電し、そこから生まれた熱でお湯をつくるマンション向け家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）を全戸に採用（全戸への採用は神奈川県初）。CO2の削減等の環境への貢献度やつくった電気・お湯の量をエネルギーリモンにより「見える化」することにより、省エネ意識が高まり、エコ効果へとつながることを期待した。また、エネファーム機器をメーターボックスに設置するとメーターボックスが過大となってしまうため、2住戸分の設備配管をまとめ、メーター等をまとめた合理的な配置とすることにより省スペース化を実現した。



メーターボックス納まり図



エネファーム概念図（出展：コージェネ財団ホームページ）

設計担当者

統括：河添栄作／建築：大映雄生／構造：滝口純一、鏡友明、渡辺万里子／設備：佐々木健、西形基

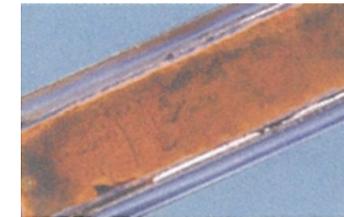
主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（品確法劣化対策等級3）
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（既存樹木の保全）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（品確法断熱等性能等級4、複層ガラス）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（エネファーム、LED照明）
- LR2. 1. 水資源保護（節水型水栓の採用）

### 《長寿命化》

#### 給排水管や設備機器の長寿命化

増圧ポンプに直接、天然水の生成過程を再現しミネラル水を生成する活水器を接続したことで、給排水管が汚れにくく錆びにくくなる効果を得られるため、給排水管や設備機器の故障・メンテナンスが軽減でき、長寿命化が期待できる。また、生活水をミネラル活性水とすることにより、健康的な暮らしに寄与し



←一般水道  
（1997年4月～1998年7月）  
赤錆が発生



←活水器使用  
（1997年4月～1998年7月）  
赤錆の発生が抑制されている



エネルギーリモン